

## 衛生看護学科のめざすもの

### はしがき

昭和28年から東京大学に衛生看護学科という新しい学科が設けられた。そして醫學部に属することに定められたから、醫學部は醫學科、藥學科、衛生看護學科の3分科から編成されることになった。

醫學科は諸大学の醫學進學の課程2年を終った者に4年間の専門教育を授ける。藥學科では東大の教養學部2年修了後に進學して來た學生が2カ年間専門科目を學ぶ。醫學科、藥學科に來る學生は教養學部の理科2類に入學する者が多い。ところで衛生看護學科はどうかと云うと、初めから衛生看護學科學生として登録されるが一般教養は教養學部に於て授けられ、専門科目は2年生後半以後に醫學部小石川校舎に於て履習する。したがつて所屬關係では初めから醫學部に属しているが、その他の點では理學部、文學部等の學生の大學教育と同じ様式である。學士號の名稱は衛生看護學士ということにきまつた。

### 社會の要請

はじめ世間では「看護婦に大學教育をしてどうするんだ」というような聲があつた。一方また書面をもつて、アメリカの病院に入院した經驗を述べ「日本の看護婦もあのように願いたいものだ。それには今度のような計畫で、しっかりと教育を授けて養成してほしい」旨を云つて來た人もあつた。これらの正反對の様な意見は實は兩方とも當つていたのである。つまり看護婦が舊來のような知識で在來のような働きをしているだけでよいものなら、大學教育として

養成する必要はない。しかし外國で以前からやつているような、醫師と共同して、或は手分けして（醫師に使われる使用人的存在でなく）治療、予防、保健に活動できる看護婦を養成するためには、外國と同様な大學程度の教育を授けなければならぬ。

この目標に向つての日本の看護教育の改革は進駐軍の指示にうながされて戦後大に行われ、高等學校卒業者を入學させ3カ年教育する甲種の看護學校（国立病院附屬のものは高等看護學院という）と、中學校卒業者を入學2カ年の教育を行う乙種の看護婦養成學校とが全國に2本立となつて出現した。それだから、中にはこの構想は占領政策の一環として行われたもので甲種程度の看護學校は日本の現狀に合わない、などと云う人がある。ところが事實を云うと、戦前も戦前、ずつと以前から日本でも一部にはこのような高級看護教育が實施されていたのである。それは聖路加病院と日本赤十字社中央病院との看護婦養成組織である。そしてその出身者は患者、特に知識層の患者からその教養と學識の故に喜び迎えられていたのである。後に甲種看護學校一本の政策に修正され、乙種の看護學校は廢止されて、乙種と同様の入學資格をもつ者に、看護補助員的な教育を行い、看護チームワークの一環とすることになつた。

その意圖するところは、このような例を引くのもおかしいが、戦争には將校だけでは無理で、下士や兵士がいて全体が釣合がとれた編成になつていなければならぬと同様、看護婦も科學、特に醫學のめざましい進歩につれて、従来の補助員的の職種だけでその目的を達することができなくなつたので、(1)現代の進んだ醫學や衛生學心理學、社會學の要點を學んで、患者なり民衆なりが必要とする所を理解し對處し得るだけの高度の知識と技術を要する面に働く人と(2)専門的に深く掘下げた學問を必要としないような仕事ではあるが、それなくしてはいかなる高度の知識、技術も完成しない様な方面を支持する人が必要だといふのである。そしてこの(1)も(2)もそれぞれまた多くの方面、種類に分化している。簡単に云つても、

↑ 看護婦として従業員

一般に病院では職員としての看護の補助員すなわち準看護婦との両方が必要であり、更にその従業員も欠くことができない。

さて新制度の看護學校ならば、東大にも病院で經營するものがある。したがつて高級看護婦を養成するだけの目的なら、現在ある看護學校を強化しても出来ないことはなかつた理窟である。尤もこれは理窟であつて、これを驗化することは、そもそも大變困難なことであるだろう。何となればこれは法令上は學校教育法におけるいわゆる各種學校であつて、看護婦數名の専任教官の外は非常勤講師だけで編成できる立前であるからである。従つてアカデミック・スピリット學究精神に於て欠ける所があるのは種々の事情で無理もない。それに強化しようとしても、看護の教官（短期大學教授級の）を本格的に養成する大學は當學科が出来るまではどこにもなかつたのである。これでは特別優秀な人でない限り、看護學校卒業者が日本の看護界の支柱となつて、看護の實施、行政、教育の中核になることは望めないわけである。

また看護術の近代醫學及び心理學から見た學問的理論を研究し、近代看護術と看護學とを確立する任務を荷うのは一体誰か？このための施設が日本に少くとも一つは必要であろうではないか。看護術の進歩改善について今後一々歐米に見習うようでは、日本として恥しいことである。世界の看護界に日本人が指導的な役割を演ずる面が今後出来なければいけないと思う。

## 大學の立場

こういうわけで文部省、厚生省の關係當局では、日本の看護體系に筋金を入れたといふねらいから、外國の Consultant nurse のような大學教育を受けた卒業者で看護學校、高等看護學院の教官陣を充實するとともに、將來の日本の看護界の中核となるべき看護専門家を養成しようと考えたのである。

しかし国立大學としては特殊の職業志望を持った者のみを入學させたり、學生がそのような志望に固定することを強いたりすることはできない。一定の資格を充している受験者には廣く門戸を開放し、學習の便宜を與えるべきである。それと同時にまた大學は學問開拓の場であり、それによつて大衆の福祉に貢獻することを心がけなければならぬ。看護については臨床看護に於ても、公衆衛生看護に於ても、正確な學問的裏付けを要することが澤山残つてゐる。この點に努力することがすなわち「看護學の樹立」に外ならない。かくして看護學を學び研究した識見ある卒業者が大衆に接するときには、はじめ現代の保健醫療の知識が大衆の幸福のために活用されるのである。かように考えて來ると、優秀な識見ある看護専門家を必要としているのは、單に高等看護學院や進歩した病院だけではない。「公衆衛生活動の推進」いふかえればわれわれの行ふ民衆の健康保持、増進、指導の働きが、人々の日常生活の中に浸透して、常識となりきるまでには持ち上げるために必要なのである。醫師、藥劑師、助産婦、保健婦、醫療社會事業家、技術者等の専門的職能者はもちろん、民衆の保健推進のために組織された種々の職能者及び技術者からなるヘルスマーカー (health worker) 体系の鎖の中に弱い環があつてもあつてはならないが、特に専門的職業としての看護面の分野は廣く、その責任は極めて重いのである。

## 授業内容と卒業後の活動分野

以上のような目的を達成するために、當學科では一般教育、外國語、体育を東京大學の他の科類と同様に授業するとともに、専門課程に於ては現代の醫學と衛生學に立脚した看護保健活動の理論と實技を授けることになつてゐる。専門課程はこの一本しかない。

したがつて卒業者の適職を一言で云えば「個人又は公衆を対象とする看護、保健に関する仕事を推進する中核」ということになる。

つまり教育の結果得られた卒業者は外國でいう Multi-purpose health worker の能力を持つに至つた。これはしかし必ずしも數多くの目的を以て教育をしてゐるといふわけではない。何となればたとえ臨床看護の場合でも心理學、社會學を心得ていて、感情生活や社會關係を持つた人間として患者を見るのでなければならぬから、その素養としては公衆衛生看護すなわち保健婦活動のための素養と同様なことが要求されるのである。

むかしは人々の健康をほとんど醫師の行う病氣の治療に托すだけであつたが、近代社會では病氣を予防し、衛生に心がけるといふ健康指導の方にも力を入れるようになった。また醫學、心理學、社會學の知識を應用して身体的の故障以外の悩みや困難を除くことも行われてゐる。つまり身体的、精神的及び社會的に健全な生活を確保する (Health care) ための援助を人々に提供する——醫師はこれを有料で行うけれども、醫師でなければ行ふことができない處置 (手術、處方投藥、放射線照射等) を除けば——それらの援助活動は、みなわが衛生看護學士の適職である。それは實に多方面に亘り、中には日本にまだない新しい職種として人を求めているものもある。社會のための者觀的必要や、採用者側の需要が明らかになつてゐる數多くの職種の内、おもなものを次の様に分類してみた。

### 1 直接人々に接して保健活動する場合

これらの職種の活動はサービズであるが、當學科卒業者の場合には、同時にまた民衆の Health care をいかに行うべきかについての實證的研究でもなければならぬ。

(i) Nurse として——般通念の看護婦とはちがうが、各種臨床看護、各種公衆衛生看護たとえば地域社會看護、産業看護、學校看護等の専門家として。そのためには看護婦、保健婦、健康管理者、養護教諭の資格が得られるようになってゐる。

(ii) Therapist として——物理療法、作業療法、言語療法、心理療法等の therapist

(iii) Health physician として——これは放射能災害予防の保健技師である。

2. 看護教育を通しての保健活動

看護学校、高等看護學院、看護短期大學の教職員

3. 研究を通しての保健活動  
當學科その他の諸研究室、諸研究所、各大學の研究職員として

4. 行政を通しての保健活動

官公廳勤務の公務員（保健、厚生關係）。その中には勞働省勞働衛生關係（基準監督官）、法務省矯正關係（少年鑑別所技官）、家庭裁判所關係（調査官または技官）等もある。

5. 教育を通しての保健活動

理科、保健の教諭の資格（無試験）が得られるようになってい

6. その他の社會人としての保健活動

保健、厚生に基礎をおいた新聞雑誌記者、放送局員、出版社員

これらの諸點について日本と外國（例えば Finland や米國）とを比べて見ると、日本では素養ある看護専門家でなければできない種類の職種が充分効果を擧げていない。また欠けている。例えば英國の Health visitor のような Visiting nurse の制度が日本でもっと盛にならなければいけない。どの方面に活動するにしても、當學科の卒業者は民衆の健康を自分の肩に擔うのだという氣構えと實力がなければならぬ。そしてこそはじめてその方面の指導的地位が與えられるのである。

衛生看護學科のような大學の教育を受けた看護専門家は、アメリカでは Consultant nurse という名で總稱され、各方面に活躍している。この語は一般の Nurse に對する指導の能力ある者という意

味である。最近の調べによると、その内 1 割だけが病院勤務で他は公衆衛生の諸方面に活躍している。大學教育を受けなくて Consultant nurse になつてゐる者もあるが、それは全体の約 2 割で、約 8 割は大學を出た Bachelor (學士) である。更に大學院を経て Master (修士) の學位を有する者が全体の約 4 分の 1 ほどである。

### 衛生看護學科を志望する人に

衛生看護學科には大學入學資格のある人なら誰でも志望できる。入學選考の窓口も他の科類とは別になつてゐるから、入學難は比較的すくない。入學後の轉科、轉類、他學部への轉進學は認められない。

しかしたゞ漫然と東大にはいりたいとか、卒業後の就職が容易だからとかいふだけの動機の人には、たとえ成績がよくてもあまり歓迎しない。われわれとしてはひたすらに人間愛 (Love of people) に満ちた人を歓迎する。身体的、精神的に援助を必要とする人々のためにつくすことに喜びを感じるような人だけで、當學科を人間愛の殿堂として築いて行きたい。われわれの學科は看護保健の學理を開拓し、それを應用した正しい看護法、保健指導法を攻究し、教授することを任務としてゐるのであるが、その中心を流れる理念、基礎となる哲學は人間愛である。

これなくしては當學科に入學し、學習することは方向がちがいである。看護學も奉護術も、惱める人々をたすけようという愛の心を以て學び行ふのでなければ、まことにその名に値しないからである。大學教育を受けるといふこと、受けたといふことによつて心おごり自らを高しとし、知識をもつて最上と考え、看護の本来の目的である敬虔な人類奉仕への念を失い、或はこれまで看護につくして來た先輩に對して尊敬と友情とを拂わないような、狭い考えをもつ人

## 東大醫學部附屬看護學校との差異

東京大學には、當學科と別に、普通の看護學校である醫學部附屬看護學校がある。この二つのものゝ區別につき誤解している向もあるので、念のため次に對照表を掲げる。

名稱	所在地	所屬關係	教育の主任者	教官組織	學生の資格	入試の方法	教育方針課程	修業年限、學士號	國家試驗受験資格	中學高校教諭資格	給費制度及び寄宿舎	授業の場所	實習病院	豫想される就職先
東京大學醫學部附屬看護學校	東京都文京區(本郷局區内)本富士町1丁目1番	醫學部附屬病院による經營	その校長(附屬病院長が兼任)	所屬の教授助教、助手を有しない	附屬看護學校學生	特に看護學校の入試を行う	臨床看護實踐中心 文部、厚生省令による	3年、學士とならない	看護婦試驗	得られない	給費制、全員寄宿	本郷、その學校	醫學部附屬病院(本郷)	主として臨床看護婦として
東京大學醫學部附屬看護學校	東京都文京區(小石川局區内)雜司谷町120番	醫學部内の一學科	衛生看護學科主任	講座編成で所屬の教授、助教、助手を有する	東京大學學生	一般の東京大學の入試	大學生としての教育 大學教育基準による	4年、衛生看護學士となる	看護婦、保健婦試驗	得られる	給費制なし、學生第一 給完成(收容力25名)	1-2年教養學部(駒場)舎 2-4年醫學部小石川校舎	醫學部附屬病院分院(小石川)その他	廣大保健衛生看護の諸分野の中核として
東京大學醫學部附屬看護學校	東京都文京區(本郷局區内)本富士町1丁目1番	醫學部附屬病院による經營	その校長(附屬病院長が兼任)	所屬の教授助教、助手を有しない	附屬看護學校學生	特に看護學校の入試を行う	臨床看護實踐中心 文部、厚生省令による	3年、學士とならない	看護婦試驗	得られない	給費制、全員寄宿	本郷、その學校	醫學部附屬病院(本郷)	主として臨床看護婦として

## 名稱

がもしあつたとすれば、それはとりもなおさず教養の低さを物語るもので、そのような人は所望社會人として活動し得るまでに成長しているとはいえない。

將來當學科の卒業者として、看護、保健の氣高い奉仕を以て社會大衆の尊敬と信頼とを得るには、入學に先だつて心の準備が先ず必要である。そうでない人は當學科の學習の途中で、そのわざが心に染まず、ついに失望し落伍することになるであらう。

學科の名前の「衛生看護學科」は、最初「看護學科」としようという意見もあつたが、看護という日本語の響きがわれわれが考えている意味と甚しくちがつて聞えるきらいがあるし、單に臨床看護だけの意味に誤解されるおそれもある。又當學科は在來の看護學校とは著しく内容を異にしているので、區別を明らかにする意味もあつて頭に「衛生」を冠した。この場合「衛生」は英語の Health care に相當し、保健活動一般を指す。これはまた同時にわれわれが目標としている廣義の看護 Nursing に相當するものである。

英語で當學科の名前を云うときには、正式名稱としては  
Division of Health Care and Nursing, Faculty of Medicine,  
The University of Tokyo.

略式では  
Unveasity Nursing School, The University of Tokyo.

これに對し在來の東京大學醫學部附屬看護學校は附屬病院の經營する所であるから  
Hospital Nursing School, University Hospital, The University of Tokyo.  
と云うべきであらう。